

2022年6月30日

BP キャピタル株式会社

「のとSDGsファンド」による投資実行について

BP キャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 松多 洋一郎）は、株式会社 QR インベストメント（本社：石川県金沢市、取締役社長 角地 裕司）と共同で設立した奥能登SDGs投資事業有限責任組合（以下「のとSDGsファンド」）より、有機米デザイン株式会社（本社：東京都小金井市中町、代表取締役：山中大介）に投資実行したことをお知らせいたします。

当社は当ファンドを通じて、地域社会をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

◆有機米デザイン株式会社について

有機米栽培の大きな課題となる除草作業を省力化する自動抑草ロボット「アイガモロボ」の開発や有機米栽培のノウハウの確立に向けた研究開発に取り組み、農業者の所得向上と有機米マーケットの拡大に取り組む。街づくり会社のヤマガタデザインの出資により2019年11月に設立。東京農工大学とは有機米の栽培に関する知見の収集と諸課題の解決に向けた共同研究を2020年に開始。アイガモロボの販売は2023年を予定。

商号	有機米デザイン株式会社
代表取締役	山中大介
本社所在地	東京都小金井市中町2丁目24番16号 農工大・多摩小金井ベンチャーポート101
事業内容	自動抑草ロボットの開発/有機米の流通・販売支援
ホームページ	https://www.ymd1122.com/



有機米デザイン



◆能登地域への事業展開について

有機米デザインは、能登半島で自然栽培に積極的に取り組んできたJAはくいと昨年9月に連携協定を締結。持続可能な農業の普及拡大に向けてアイガモロボを活用した栽培技術のICT化、米の販売、農業者育成で連携を深めている。

◆のとSDGsファンドについて

本ファンドでは、内閣府の『SDGs 未来都市』に選ばれた珠洲市をはじめとした能登地域を中心に地域の資産・資源を有効利活用した持続可能なビジネスの創出および SDGs に資する事業を行う企業を支援するモデルを創り、社会変革の実現と SDGs 達成に向けた最初の一步を能登地域から踏み出すことを目指しております。

名称	奥能登 SDGs 投資事業有限責任組合（略称：のと SDGs ファンド）
設立	2021 年 7 月 26 日
出資者	無限責任組合員（GP）： 株式会社 QR インベストメント BP キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）： 株式会社北國銀行 アステナホールディングス株式会社 興能信用金庫 のと共栄信用金庫 その他パートナー企業（募集予定）
存続期間	10 年（但し、合意により 2 年間の延長可能）
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 能登地域の SDGs 達成に資する事業を行う、日本国内に本店を置く非上場の株式会社 ➤ スタートアップ企業の場合、シード（プレシード含む）からレイターまで全ステージが対象
特長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 持続的な環境・社会・経済を維持するために必要な事業を展開する企業の成長・承継・再生を支援 ➤ コンサルティングも含めた幅広い支援において北國銀行グループと連携 ➤ 現地企業等が必要とする知見や技術を有する様々な企業とのコラボレーション